

1 2 月 3 日 (第 1 号)

平成24年第5回豊能町議会定例会会議録目次

平成24年12月3日（第1号）

出席議員	1
議事日程	2
開会の宣告	3
町長あいさつ	3
開議の宣告	3
会議録署名議員の指名	3
会期の決定	3

（議案提案理由説明・質疑・討論・採決）

第1号諮問	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること について	4
第8号承認	専決処分事項の承認を求める件（平成24年 度豊能町一般会計補正予算）	4
第47号議案	豊能町防災会議条例及び豊能町災害対策本部 条例改正の件	5
第48号議案	豊能町立老人デイサービスセンター条例改正 の件	6
第49号議案	豊能町立保健福祉総合施設条例廃止の件	6
第51号議案	財産の無償譲渡について	8
第52号議案	指定管理者の指定について	10
第53号議案	池田市豊能町能勢町障害者給付認定審査会共 同設置規約の変更に関する協議について	10
第55号議案	平成24年度豊能町介護保険特別会計事業勘 定補正予算の件	11
延会の宣告		18

平成24年第5回豊能町議会定例会会議録（第1号）

年 月 日 平成24年12月3日（月）

場 所 豊能町役場議場

出席議員 14名

1番	橋本 謙司	2番	井川 佳子
3番	高橋 充徳	4番	岩城 重義
5番	小寺 正人	6番	山下 忠志
7番	永並 啓	8番	竹谷 勝
9番	福岡 邦彬	10番	秋元美智子
11番	平井 政義	12番	高尾 靖子
13番	西岡 義克	14番	川上 勲

欠席議員 0名

地方自治法第121条の規定により議会に出席を求めた者は、次のとおりである。

町 長	田中 龍一	総務部長	乾 晃夫
教 育 長	小川 照夫	建設環境部長	川上 和博
生活福祉部長	上林 勲	教 育 次 長	桑田 良彦
上下水道部長	高 秀雄	会 計 管 理 者	上西 悦子
消 防 長	西本 好美		

本会議に職務のため出席した者は、次のとおりである。

議会事務局長	乾 利昭	書 記	杉田 庄司
書 記	高橋 欣也		

議事日程

平成24年12月3日（月）午後1時開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定について
- 日程第 3 第 1 号諮問 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
について
- 日程第 4 第 8 号承認 専決処分事項の承認を求める件（平成24年度豊能町一般会計補正予算）
- 日程第 5 第 47 号議案 豊能町防災会議条例及び豊能町災害対策本部
条例改正の件
- 日程第 6 第 48 号議案 豊能町立老人デイサービスセンター条例改正
の件
- 日程第 7 第 49 号議案 豊能町立保健福祉総合施設条例廃止の件
- 日程第 8 第 50 号議案 豊能町立農村婦人の家設置条例廃止の件
- 日程第 9 第 51 号議案 財産の無償譲渡について
- 日程第 10 第 52 号議案 指定管理者の指定について
- 日程第 11 第 53 号議案 池田市豊能町能勢町障害者給付認定審査会共
同設置規約の変更に関する協議について
- 日程第 12 第 54 号議案 平成24年度豊能町一般会計補正予算の件
- 日程第 13 第 55 号議案 平成24年度豊能町介護保険特別会計事業勘
定補正予算の件

開会 午後1時00分

○議長（福岡邦彬君）

ただいまの出席議員は14名であります。

定足数に達しておりますので、平成24年第5回豊能町議会定例会を開会いたします。

定例会に当たりまして、町長より発言を求められておりますので、これを許します。

田中龍一町長。

○町長（田中龍一君）

皆さん、こんにちは。

平成24年第5回豊能町議会定例会に当たりまして、議員の皆様全員の御出席を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、一言御挨拶申し上げます。

ことしはや師走に入り、寒さも日を追うごとに厳しくなり、これから先の3カ月予報でも、例年より寒い冬となると言われております。

議員の皆様におかれましては、平素から本町の発展と住民福祉の向上に御尽力いただいておりますことに対し、敬意を表する次第でございます。

先月の16日に衆議院が解散され、あす告示の16日投票となりましたので、本町としましても、急遽、選挙に要する費用を専決させていただき、今議会で報告させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

また、本議会に提案させていただいております第50号議案、豊能町立農村婦人の家設置条例廃止の件及びそれに関する補正予算につきまして、地元自治会との調整不足により、議案の撤回及び修正について議員にお願いしております。

今後、提案に当たりましては、十分調整の上、提案させていただきますので、まことに申しわけありませんが、よろしく願

いいたします。

さて、私が町長に就任させていただいてから、はや2カ月を過ぎようとしておりますが、今回の定例会で初めて一般質問をお受けするわけでありましたが、何分ふなれです。誠心誠意お答えできるよう努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

（発言する者あり）

○議長（福岡邦彬君）

静かにしてください。結構です。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

お諮りいたします。

議会広報特別委員会より、今会期中における写真撮影の申し出があります。

申し出どおり写真撮影を許可することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

異議なしと認めます。

よって今会期中、写真撮影を許可いたします。

日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、6番・山下忠志議員及び7番・永並啓議員を指名いたします。

日程第2「会期の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日から12月28日までの26日間といたしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

異議なしと認めます。

よって会期は、本日から12月28日までの26日間と決定いたしました。

この際、暫時休憩いたします。

再開は、放送をもってお知らせいたします。

(午後1時04分 休憩)

(午後3時55分 再開)

○議長(福岡邦彬君)

休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第3「第1号諮問 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

田中町長。

○町長(田中龍一君)

それでは、第1号諮問、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて御説明申し上げます。

人権擁護委員の任期満了に伴う同委員の候補者の推薦に際し、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものでございます。

本件は、平成25年6月30日をもって人権擁護委員の任期が満了するのに伴い、候補者として法務大臣に対し推薦するものでございます。

それでは、候補者の略歴を御説明いたします。

氏名は、山本ユリさんです。

住所は、大阪府豊能郡豊能町東ときわ台4丁目12番地の6でございます。

生年月日は、昭和25年4月13日でございます。

山本さんは、平成22年7月より人権擁護委員として人権擁護に幅広く御活躍いただいております。今後も人権擁護委員として御活躍いただける方であろうと存じますので、引き続き人権擁護委員に推薦するものでございます。

なお、人権擁護委員の任期は3年でございます。

説明は以上でございます。議員の皆様のお同意を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長(福岡邦彬君)

これより本件に対する質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(福岡邦彬君)

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(福岡邦彬君)

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり適任と認めることに賛成の方は起立願います。

(全員起立)

○議長(福岡邦彬君)

起立全員であります。

よって、第1号諮問は、原案のとおり適任と認められました。

日程第4「第8号承認 専決処分事項の承認を求める件」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

乾総務部長。

○総務部長(乾 晃夫君)

第8号承認、専決処分事項の承認を求める件、平成24年度豊能町一般会計補正予算(第4回)について説明を申し上げます。専決補正予算の1ページをお願いいたします。

専決第12号、平成24年11月16日に専決処分を行ったものでございます。

第1条といたしまして、既定の歳入歳出予算の総額に1,121万5,000円を増額し、歳入歳出予算の総額を61億4,274万6,000円とするものでございます。

補正の款項の区分及び金額並びに補正後

の金額は、2ページの「第1表 歳入歳出
予算補正」によるものでございます。

今回の補正は、11月16日に衆議院が
解散され、選挙が施行されることとなった
ことから、解散の日に、即時、総選挙に係
る経費1,121万5,000円を専決により
補正したものでございます。

なお、歳入につきましては、全額府支出
金を見込んでおります。

説明は以上でございます。御承認いた
だきますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり承認することに賛
成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（福岡邦彬君）

起立全員であります。

よって、第8号承認は、原案のとおり承
認することに決定いたしました。

日程第5「第47号議案 豊能町防災会
議条例及び豊能町災害対策本部条例改正の
件」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

第47号議案、豊能町防災会議条例及び
豊能町災害対策本部条例改正の件について
説明をさせていただきます。

本件は、本年の6月に災害対策基本法の
一部が改正され、防災会議の組織や所掌事

務の見直し等が行われたことから、本町に
おいても防災会議の所掌事務の変更や組織
の見直しなどを行うため、豊能町防災会議
条例及び豊能町災害対策本部条例の一部を
改正するものでございます。

改正の内容といたしましては、第1条で
豊能町防災会議条例の一部を改正し、防災
会議の所掌事務の一部を、町長の諮問に応
じて町の地域に係る防災に関する重要事項
を審議し、町長に意見を述べることに改め
るとともに、防災会議の組織を見直し、防
災会議委員として新たに「自主防災組織を
構成する者又は学識経験のある者のうちか
ら町長が任命する者」を追加することとし、
さらに第2条で豊能町災害対策本部条例の
一部を改正し、条例中に引用している災害
対策基本法の条項を変更するなど、用語の
整理を行うものでございます。

なお、この条例は公布の日から施行し、
附則におきまして、新たに追加する防災会
議の委員の任期につきましては、他の委員
の残任期間と同じ期間とするように措置す
るものでございます。

説明は以上でございます。よろしくお願
いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり決することに賛成
の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（福岡邦彬君）

起立全員であります。

よって、第47号議案は、原案のとおり可決されました。

日程第6「第48号議案 豊能町立老人デイサービスセンター条例改正の件」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

第48号議案、豊能町立老人デイサービスセンター条例改正の件につきまして、提案理由の御説明をいたします。

本件につきましては、これまで指定管理で運営してまいりました豊悠プラザ老人デイサービスセンターにつきまして、豊能町立保健福祉総合施設の再整備に伴い、平成25年4月1日より社会福祉法人によります自主運営とすることから、同デイサービスセンターの項を削除するものでございます。

なお、附則といたしまして、この条例は平成25年4月1日から施行するものであります。

説明は以上でございます。御審議いただき御決定賜りますよう、よろしく願いをいたします。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（福岡邦彬君）

起立全員であります。

よって、第48号議案は、原案のとおり可決されました。

日程第7「第49号議案 豊能町立保健福祉総合施設条例廃止の件」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

それでは、第49号議案、豊能町立保健福祉総合施設条例廃止の件につきまして、提案理由の御説明を申し上げます。

本件につきましては、かねてより進めてまいりました保健センター周辺への豊悠プラザ機能の統合によります豊悠プラザの後利用に際しまして、地域密着型特別養護老人ホームなどをみずから整備し、運営してくれる社会福祉法人に無償貸し付けするため、当該施設条例を廃止するものでございます。

なお、附則といたしまして、施行日は平成25年4月1日とするものでございます。

説明は以上でございます。御審議いただき御決定いただきますよう、よろしく願いをいたします。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

質疑いたします。

無償貸し付けするというところで、豊悠プラザのことですけれども、この政策、私はとても賛成です。新しく障害者施設というか、そういうふうなところで、町の整備が進んでいくということに対しては非常に賛成なんですけれども、再度確認したいです。

無償貸与するこの期間というのは、10年というふうにしては聞いておりますけれ

ども、今回、これに関しましては、当然、無償貸与を受ける側がみずからの経費で整備したりなんかされますね。

そういう中で、10年後、この貸与をやめる、できないということは可能なんですか。そのことだけ、法的にどういうことになっているのか、お尋ねいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えいたします。

10年間を無償貸し付けすることとしておりまして、それは法人募集要項に書いております。10年後は新たに協議をいたしますということで、法人公募しておりますので。以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

では、相手方は、今回、10年間無償貸与を受けると、その間、自分たちでいろんな形で整備してくださると。だけど、10年後は、もしかしたらその施設が使えなくなることも十分承知の上で引き受けてくださるということで理解させていただいてよろしいですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えします。

あくまで協議をするということが前提でございます。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

いいですか。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

ごめんなさい。申しわけない。今の答弁の意味がちょっとよくわからないので、もちろん協議はされるんでしょうけれども、もしかしたら次回というのはないかもしれないということは相手方は承知なんですねということだけの質疑です。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

相手は承知しておると思っておりますが、私どもはあくまでそういう介護保険法によります地域密着型特別養護老人ホーム、障害者の関係の施設整備をしまして、その運営をやっていたきたいということを言っていますので、それをやっていただく限り、私どもは引き続きやっていただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（福岡邦彬君）

起立全員であります。

よって、第49号議案は、原案のとおり可決されました。

お諮りいたします。

日程の順序を変更し、日程第9、日程第10、日程第11及び日程第13を先に審

議したいと思います。これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(福岡邦彬君)

異議なしと認めます。よって日程の順序を変更し、日程第9、日程第10、日程第11及び日程第13を先に審議することに決定いたしました。

日程第9「第51号議案 財産の無償譲渡について」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

乾総務部長。

○総務部長(乾 晃夫君)

第51号議案、財産の無償譲渡について御説明を申し上げます。

本件は、平成22年度末、平成23年3月31日をもって用途を廃止いたしました旧吉川公民館の土地、建物を吉川自治会に自治会館として無償譲渡することについて、地方自治法第96条第1項第6号の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

1、譲渡する財産は、土地、吉川130番地1、面積1,231.51平米及び吉川920番地3、面積46平米の2筆で、いずれも地目は宅地でございます。

なお、130番地1は、旧吉川公民館の敷地であり、920番地3は、その隣接地で、忠魂碑が建っているあたりの土地でございます。

建物は、吉川130番地1、面積は、建築面積で306.98平米、延べ床面積で538.34平米でございます。

構造は、鉄筋コンクリートづくり2階建てでございます。

譲渡の相手方は、吉川130番地の1、吉川自治会代表者、向井勝氏でございます。

譲渡の目的は、自治会館、譲渡する日は、平成25年4月1日を予定しております。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長(福岡邦彬君)

これより本件に対する質疑を行います。

高尾靖子議員。

○12番(高尾靖子君)

この無償譲渡につきましては、今後、この建物については、一切、維持管理は援助しないということになっているのかどうか、確認いたします。

○議長(福岡邦彬君)

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長(乾 晃夫君)

吉川公民館の維持管理経費でございますが、それにつきましては、吉川自治会で平成25年度以降については実施をしていただく、向こうの責任で運営していただくということになっているところでございます。以上です。

○議長(福岡邦彬君)

ほかにごございませんか。

秋元美智子議員。

○10番(秋元美智子君)

この無償譲渡なんですけれども、何で無償貸与ではだめだったのかというのが1点です。

それと、もう1点、自治会館ということで譲渡するので、その目的外使用はないということなんですけれども、これ仮に吉川の自治会のほうが、自治会館ももちろんそうですけれども、もっと違った、あそこでビジネス展開したいとか、いろいろなものをつくってね、そういったものをしていとか言ったときには、この今の約束というか、規約か何かでいけるんですか。それともそういうことはもう自治会館の運営とは外れているから、だめだというふうになっているのか、ちょっとそのあたりをお尋ねします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

まず、貸与はできないのかということでございますが、吉川自治会とは、もう平成23年の4月から無償貸与ということで、自治会の管理運営をやっていただいているという状況でございます。

ことしの6月に吉川自治会が地縁団体の承認を受けて法人格を有されましたので、これを機会に、吉川自治会としては無償譲渡してほしいという要望が参りまして、町としても無償譲渡するという形で進めているところでございます。

これから無償譲渡に関する契約書等を吉川自治会と締結をしていこうというふうを考えておられて、その目的は、先ほども言いましたけれども、吉川の自治会館に使うという目的で契約をしたいというふうに思っております。

全然、完全に違う形態で自治会以外の方がやられるというようなことになれば、その契約の中では、もう返していただくというような形をうたっていきたいというふうに思っているところでございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

となりますと、この無償譲渡というのは、吉川自治会のほうからそういうふうな要望があって、地縁団体もつくって、準備整えたからお願いしたいということで行政のほうに来た話ですね。まず、それが1点と。

それから、私の質疑の趣旨的なものは、自治会外の方があそこでビジネス的なことをするんじゃなくて、自治会の方が、やはり今後、あその場所を運営し、維持管理

していく上で、やはりそれなりの収益を上げなくちゃいけないと、そういうビジネス展開はこの契約ではできるんですかという質問なんです。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

自治会が主体的に営利といいますか、一定、維持管理経費を上げるためにそういう事業を展開されるというやつにつきましては、事業主体が自治会で貸館等をやられるということについては、何ら問題はないというふうに思っているところでございます。以上です。

○議長（福岡邦彬君）

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

今回、目的外使用された場合は、用途は限定するというふうな話もあったんですけども、具体的にそれはどういうことを指すもんですかね、目的外使用と言いますと。

私は、あそこで自治会館の貸館ですか、それから今、非常に頑張っていますね、塩麴つくって販売したりなんかね。ああいう形のビジネス的なこともできるということをお伺いしましたけれども、目的外使用となると、どんなことが想定されるのか、それはちょっと非常にわからないし、非常に今後のあその自治会館の活動には期待したものですので、ちょっとそのあたりを教えてください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

乾総務部長。

○総務部長（乾 晃夫君）

今現在、吉川自治会館については、自治会が積極的に人を呼びたいということで前向きに運営をしていただいているというこ

とで、今後、先には目的外使用というのはどういう形になるかというのは、今は想定はできないんですけれども、一応、基本的には、吉川自治会が主体的になってやられるということには何ら問題ない。ただ、全然吉川自治会とは関係なしで、全く違う団体がそこを運営される、部分的にでも仮にやられるというようなことになると、それは今後、契約の中にうたっていくことになると思いますので、その辺については、吉川自治会と十分協議を3月末までにして、契約をこしらえたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（福岡邦彬君）

起立全員であります。

よって、第51号議案は、原案のとおり可決されました。

日程第10「第52号議案 指定管理者の指定について」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

第52号議案、指定管理者の指定について、提案理由の御説明を申し上げます。

本件につきましては、豊能町立生き生き老人デイサービスセンターの現行の指定管

理期間が今年度末で終了しますことから、来年度以降も、地方自治法第244条の2第3項に基づき、当該施設の管理を行わせる者を指定したいので、同条第6項の規定によりまして、議会の議決を求めるものでございます。

施設名でございますが、豊能町立生き生き老人デイサービスセンター、指定管理者は、大阪府豊能郡豊能町吉川187番地、社会福祉法人豊能町社会福祉協議会会長、舛見喜尚氏であります。

指定期間でございますが、平成25年4月1日から平成30年3月31日までの5年間であります。

説明は以上でございます。御審議の上、御決定くださいますよう、よろしくお願いいたします。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（福岡邦彬君）

起立全員であります。

よって、第52号議案は、原案のとおり可決されました。

日程第11「第53号議案 池田市豊能町能勢町障害者給付認定審査会共同設置規約の変更に関する協議について」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

上林生活福祉部長。

(全員起立)

○生活福祉部長(上林 勲君)

それでは、第53号議案、池田市豊能町能勢町障害者給付認定審査会共同設置規約の変更に関する協議について、提案理由の御説明をいたします。

本件は、障害者自立支援法の一部改正によりまして、池田市豊能町能勢町障害者給付認定審査会共同設置規約を一部変更する必要が生じたことから、地方自治法第252条の7第2項の規定によりまして、次の規約案に基づき、池田市及び能勢町と協議をするものでございます。

議案書の次のページをお願いいたします。

池田市豊能町能勢町障害者給付認定審査会共同設置規約の一部を次のように変更をいたします。

第1条中「障害者自立支援法」を「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に改めるものでございます。

なお、附則といたしまして、この規約は平成25年4月1日から施行するものでございます。

説明は以上でございます。御審議賜り御決定いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長(福岡邦彬君)

これより本件に対する質疑を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(福岡邦彬君)

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

(「なし」の声あり)

○議長(福岡邦彬君)

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

○議長(福岡邦彬君)

起立全員であります。

よって、第53号議案は、原案のとおり可決されました。

日程第13「第55号議案 平成24年度豊能町介護保険特別会計事業勘定補正予算の件」を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長(上林 勲君)

第55号議案、平成24年度豊能町介護保険特別会計事業勘定補正予算(第2回)について、提案理由の御説明をさせていただきます。

補正予算書の1ページをお開き願います。

第1条といたしまして、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ260万円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ16億3,505万5,000円とするものであります。

それでは、歳出より御説明をさせていただきます。

お手元の補正予算書6ページをお開きください。

款4・地域支援事業費、項3・高齢者ささえあい事業費、目1・高齢者ささえあい事業費でございますが、大阪府地域福祉・子育て支援交付金を活用いたしまして介護予防の充実を図るため、備品等を購入するものでございます。

なお、大阪府からの補助率は10分の10でございます。

それでは、歳入の説明をさせていただきます。5ページをお開き願います。

款5・府支出金の260万円は、歳出のところで御説明いたしました高齢者ささえあい事業に対します補助金でございます。

説明は以上でございます。御審議いただ

き御決定賜りますよう、よろしく願いをいたします。

○議長（福岡邦彬君）

これより本件に対する質疑を行います。
高尾靖子議員。

○12番（高尾靖子君）

6ページの歳出のところで御説明いただきました高齢者ささえあい事業のところで、機械器具費というところがございますが、電動自転車を2台購入するというところがございますが、これは事故が起きたときには、どういうふうな対応をされるのか、お聞きいたします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。
上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えします。
町村の自動車共済の関係の自動車保険で対応いたしたいと思っております。
以上です。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

ちょっと説明が少なかったかなと思うんですけど、この図書についてですが、もう少しどういったものを購入するのか、お聞かせください。よろしくお願ひします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。
桑田教育次長。

○教育次長（桑田良彦君）

お答えいたします。
図書の件でございますが、内容といたしまして、大活字本、あるいは道路地図のどっか字道路地図と言うんですが、道路地図の大きなもの、高齢者向きの紙芝居、旅行ガイドブック、海外・国内、日本の歴史27巻、あと利用者リクエスト等でございます。

す。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

大活字図書を購入するということですが、なぜ今の時代、大活字図書なのかなという感じがいたしますので、理由をお聞かせください。

また、その大活字図書を導入するに当たり、高齢者の読書離れが進んでおるとは思いますが、そういった調査などはされたのか、お聞かせください。

また、行政は、今もあるから買いかえるぐらいの感覚かもしれませんが、やはり社会実情というものは目まぐるしく変わっています。特にIT分野、非常にスピードが速い。そういった中で、今や電子書籍の端末というものは五、六千円程度で購入することが可能であります。それで電子書籍の購入の検討をしないというのが、私には理解できないところであります。電子書籍の購入の導入の検討をされたのか、お聞かせください。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。
桑田教育次長。

○教育次長（桑田良彦君）

お答えいたします。
大活字本に関しましては、利用者からの要望がかなり出ていたというところがございます。

電子書籍に関しましては、電子書籍を入れる等の検討は現在しておりません。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

IT分野は、IT分野。理解しがたいと言っているんですが、いいですか。三つありましたから。

(発言する者あり)

○議長 (福岡邦彬君)

I T分野の問題について、理解できないということ。

○教育次長 (桑田良彦君)

お答えいたします。失礼いたしました。

I T関係でございますが、一つの道具としては、今後、将来的には必要だろうと思いますが、今現在、図書館の資料としてまだ安定化されていないというふうに認識しておりますので、今のところ考えておりません。

以上です。

○議長 (福岡邦彬君)

永並啓議員。

○7番 (永並 啓君)

要望が多かったということを安易に答えられますけれども、では、どのくらいの要望があったのかというのは、やはりいつも言っていますが、P D C Aで仕事をしていると思います。何か事業を計画する段階に当たっては、調査があると思います。その調査、数字をもとにプランができます。それで、何か実行します。そしたら、途中でチェックを入れて、修正などをかけていくと思ってますんで、そういった要望があったというのであれば、どのくらいのものがあったのか、お聞かせください。

それで、あとは大活字本を導入することに当たり、100万円使いますよね、いろんなものを導入するに当たり、どれくらいの読書離れをした高齢者の利用者数の増加を見込んでいるのか、そういった点も踏まえてお聞かせください。

あと、要望がありました、それを受けとめて反映させるのは、いいことだと思います。しかし、行政側としては、ただ要望をそのまま流すのではなくて、その際に、今の社会実情では電子書籍というものがあり

ますよと、これは指で軽くさわるだけで、文字が大きくなったり小さくなったりします。すごい便利なものですよというような説明などは、情報提供されたのか、お聞かせください。こういったものは常にしていくべきだと思います。それが行政の一つの役割だと思いますので、その点についてもお聞かせください。

あと、環境整備というものができていないということですが、それらいつになったら図書館でするんですかね。どこかの自治体がたくさんしだしてからするのか、でもどこかの自治体は、最初にやる自治体というのはあるわけですね。それに豊能町はなる気が全くないというふうに感じるんです。

著作権のことをよく言われます。でも、著作権というのは、著作者の死後50年で消えます。著作権フリーの書籍もたくさんあります。名作なんか全部フリーですね。夏目漱石、芥川龍之介、石川啄木、与謝野晶子、全部著作権フリーです。そういったものがたくさんあります。何も、今の時代のものを提供しなくても、そういったフリーのものをどんどん使えば、環境整備はできると思います。そういったものを考えていくのが行政の役割ではないかと思うので、ちょっと複数になっていきますけれども、明確にお答えください。よろしく願います。

○議長 (福岡邦彬君)

答弁を求めます。

桑田教育次長。

○教育次長 (桑田良彦君)

お答えいたします。

まず、大活字本の要望ということでございますが、これは日々、リクエスト、図書館ですから、リクエストカード等がございます。あるいは、図書館に来館者の利用者

の方と職員がお話をすると、そういう中で要望が多かったというところがございます。

図書館の資料の予算、限られた財源、現在、500万円ということがございます。それも含めまして、ここ2年間、視聴覚資料がなかなか買えなかったという現状がございますので、今回、補助金で活用させていただいて、お認めいただきたいと考えております。

あと、電子書籍の件でございますが、先ほども申しましたけれども、これは国の見解等もでございます。文科省の見解等もでございます。議員おっしゃってますように、今現在、全国で11の図書館が導入しておりますけれども、安定した供給はまだ現在できていないと受けとめておりますので、今のところ検討はしておらないというところでございます。

以上です。

(発言する者あり)

○議長（福岡邦彬君）

まだ、ちょっと。

私語は慎んでください。

どのくらい見込んでいるかということについて。

○教育次長（桑田良彦君）

失礼いたしました。大活字本、約130冊を見込んでおります。

金額といたしまして……

(発言する者あり)

利用者数の増加ですが、要望に対して入れていきますので、ちょっと今、人数ははっきりお答えはできません。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

ほかに。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

高齢者ささえあい事業の電動自転車のこ

とでお尋ねします。

これは、たしか西地区に2台してということで、小回りがきいて、閉じこもりがちな高齢者のお宅を訪問するというふうなことだったんですけれども、まず対象者数というのはどのぐらいいらっしゃるんですか、閉じこもりの。

それと、今まで車であれしていたのが、自転車で小回りがきくようになりまして、週1回だったのが週2回訪ねることができるとか、その効果をお尋ねします。

それと、閉じこもりがちな高齢者に働きかけて、その先の受け皿というのがどんな形で考えていらっしゃるのか、3点目。

それと、大変申しわけないけれども、電動自転車2台というのは、この機械器具なのか消耗品なのか、それぞれのちょっと経費もどうなっているのかも教えてください、この内訳も。

以上、4点お願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えします。

申しわけございませんが、対象者数は、ちょっと今手元にございませんで、後ほど報告いたしたいと思っております。

効果ですが、閉じこもりの方は、いろいろそこへ訪問することによりまして、保健師が行きますので、効果は出ると思っております。

ただ、この電動自転車を利用するのは、閉じこもりも中心なんですけれども、ほかの一般訪問につきましても活用はいたしたいと思っておりますので、その辺はよろしく願いたいと思っております。

その方々、閉じこもりの次の事業でございますが、今、現状やっております介護予防事業のほうに呼び込んで、介護予防に努

めたいと思っております。

以上でございますが、よろしいでしょうか。

○議長（福岡邦彬君）

受け皿。消耗品か。

○生活福祉部長（上林 勲君）

内訳ですね。

お答えします。

機械器具費で備品購入を組んでおりまして、自転車につきましては、1台10万円、2台で20万円という予算計上になっております。

○議長（福岡邦彬君）

消耗品かどうか。

○生活福祉部長（上林 勲君）

備品購入費で……

（発言する者あり）

他の消耗品ですか。他にですね、デュアル周波数体組成計、自動血圧計等を買うんですが……。

○議長（福岡邦彬君）

備品か消耗品かと聞いてるだけですから。

○生活福祉部長（上林 勲君）

備品でございます。

以上でございます。

申しわけございません。

○議長（福岡邦彬君）

秋元美智子議員、いいですか、受け皿は答えていませんけれども。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

よく理解できないですね。

私、これが賛成とか反対とかと言う前に、説明では、電動自転車のことを触れていましたね。私、小回りきかせて、それこそ今までの訪問回数が週1回から2回になるとか、対象者がこれだけふえたから、やっぱり小回りきかすように、一つの新たな対応策なのかなというふうに勝手に思っていた

んですが、今の説明を聞いて、あらあらと。

なぜ、あらあらと言うかと、一体、この自転車2台を使って何人の方を対象にどのようなことをされようとしているのか、もうひとつわからないんです。

高齢社会に向かって何かしらの取り組みを町はされようと思ってるんだと思いますけれども、そこのちょっと説明をきちっといただきたいなど。

それともう1点、ちょっと変えます。消耗品費100万円、機械器具費60万円、図書100万円はわかるんですけれども、電動自転車が20万円だったということも、内訳のね。じゃあ、ほかはちょっと何なのかということも含めて、どのような高齢者の対応を考えているのか、そういうことも含めて御説明をお願いします。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

基本的には、電動自転車の購入に際しましては、先ほどから言っていますように、軽自動車等では小回りがきかないと、電動自転車であれば小回りがきいて利用がしやすいということで、購入するものでございまして、前からこういうようなものがあつたら、もっと訪問回数もふえるのではないかとということで、今回、100%の補助金があつたということで、購入するものでございます。

あと、ほかにいろいろ消耗品等買いますが、今まで予算計上できたらいいなと思ってたやつを、この際、買うというものでございまして……

（発言する者あり）

そういうことでございまして、よろしくお願いをいたしたいと思っております。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

桑田教育次長。

○教育次長（桑田良彦君）

お答えいたします。

消耗品費100万円についてですが、視聴覚資料ということで、内容は、予定でございますが、CD、朗読、心の本棚、あるいは音楽、邦楽、クラシック、ジャズ、あとCDの落語等の買い換え、DVDといったしまして、介護、健康体操等、あるいはプロフェッショナル仕事の流儀等を含めまして、消耗品費100万円でございます。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

いみじくも、今、生活福祉部長がおっしゃったように、これが軽自動車では小回りがきかないところが小回りがきくようになって、訪問回数がふえるのではという、そういうふうな期待を込めて、これを購入されるわけですよ。

ということは、何がどのようにふえるのか、そこにどのような期待を持ってこれを購入されるのか、その答弁はやっぱり欲しいんですね。単にふえるだろうではなくて、違いますか。

ですから、対象者というのが一体どのぐらいいらっしゃるものかお尋ねしたものでして、そのこともはっきりわからないとなっちゃうと、イメージがちょっと湧かないんです。

もろもろ、今の100万円に関しましてお尋ねしましたけれども、260万円ですね、これね。私が間違えているのかちょっと不安になっちゃうぐらい、内訳がまだほかにありましたら、で、どのようなことが今後、この福祉の分でもうひとつ前進するのかということもあわせて、何をこう買わ

れて前進するのか、あるいはまたこの部分が足りなかったというふうな形でもいいんですけども、御説明をお願いします。

要するに、対象者とふえる回数、それからどのようなところで充実ができるのかという3点です。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えいたします。

効果でございますが、やっぱり訪問することによりまして、その対象者等に対しまして、接触することによって介護予防、介護予防教室に参加等、来てもらうということの啓発等にもなりますし、訪問回数をすることによって私は効果が出ると感じております。

あと、40万円の備品購入費の内訳でございますが、あとデュアル周波数体組成計、自動血圧計等を買しまして、それプラス、リカンベントバイク、それはトレーニングマシンでございますが、それも購入することでございます。

ちょっと対象者数につきましては、先ほど言いましたように、ちょっと今承知しておりませんので、人数については今言えませんが、よろしく願いをいたします。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

秋元美智子議員にお尋ねいたします。

対象者数については、休憩して答えることも可能だと思いますし、後でお答えすることということで議事を進めることについて、どちらか選択していただきたいと思っておりますが、前者か後者か、どちらでも結構ですが。

○10番（秋元美智子君）

後ほどで結構です。

○議長（福岡邦彬君）

ほかに質疑はございませんか。

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

閉じこもりがちな老人訪問のために使う電動自転車2台購入と先ほど御説明がありましたが、どこに配備される御予定ですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えします。

今年度いっぱい、豊悠プラザに配置をいたします。来年度につきましては、保健センターに配置をいたしたいと思っております。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

豊悠プラザに今年度は配備されるということなんですけれど、訪問先は、じゃあどこを想定されているんですか。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えします。

現状は、西地域についてを電動自転車で訪問いたしたいと思っております。

以上でございます。

○議長（福岡邦彬君）

井川佳子議員。

○2番（井川佳子君）

済みません、訪問先が西地域であるならば、今年度についても豊悠プラザじゃなくて保健センターのほうが便利なんじゃないかと単純に思うんですけれど、どうしてなのでしょう。

○議長（福岡邦彬君）

答弁を求めます。

上林生活福祉部長。

○生活福祉部長（上林 勲君）

お答えします。

今、介護予防関係のスタッフは豊悠プラザにおりますので、豊悠プラザを拠点にいたしたいと考えております。

以上です。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございますか。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

永並啓議員。

○7番（永並 啓君）

7番・永並啓です。町政会を代表し、討論させていただきます。

この議案について、高齢者ささえあい事業、この点に関しては非常にいいと思います。しかし、PDCAで仕事をしているというふうに行政は常々言いながら、そういったことが感じられません。さすがに、購入をすると言いながら、その購入に当たっての基本となる調査もされていない。大活字図書購入による効果も予測されていない。何となく要望が多いから、購入する。こういった感覚的なものが多い。これは、今後の行政を進めるに当たって、非常に仕事の運営で問題があると思っております。

また、電子書籍の導入の検討もしていない。答弁も、ちょっとよく変わるんですね。著作権が問題と言いながら、私が著作権フリーの書籍もたくさんありますよと言えば、今度は安定していないからというような答えが返ってくる。何か、やらない理由がどんどん出てくるように感じます。

安定していないのであれば、できるよう

な方法というものを考えればいいと思います。豊能町を、そうすればPRすることにもつながります。

例えば、端末だけを導入して、まずは端末を貸し出さない、図書館だけで使えるような方法というものをとれば、利用者に図書館の中で電子書籍を触れてもらうということにつながります。そうすれば、いろんな脳にとっても活性化するんで、すごいいいと思います。

以上、こういったふうに問題がありますけれども、これが町の予算であれば賛成はできかねますが、府の10分の10の補助金を使うということもありますし、新町長の今後の意識改革を期待しまして、賛成とさせていただきます。

○議長（福岡邦彬君）

ほかにございますか。

（「なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

本件は、原案のとおり決することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○議長（福岡邦彬君）

起立全員であります。

よって、第55号議案は、原案のとおり可決されました。

お諮りいたします。

本日の会議は、これで延会したいと思います。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（福岡邦彬君）

異議なしと認めます。

よって、本日はこれで延会することに決定いたしました。

本日は、これで延会いたします。

今回は、12月5日午前9時30分より会議を開きます。

本日は、長時間どうも御苦労さまでした。

延会 午後4時52分

本日の会議に付された事件は次のとおりである。

会議録署名議員の指名

会期の決定について

第 1 号諮問 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

第 8 号承認 専決処分事項の承認を求める件（平成 24 年度豊能町一般会計補正予算）

第 47 号議案 豊能町防災会議条例及び豊能町災害対策本部条例改正の件

第 48 号議案 豊能町立老人デイサービスセンター条例改正の件

第 49 号議案 豊能町立保健福祉総合施設条例廃止の件

第 51 号議案 財産の無償譲渡について

第 52 号議案 指定管理者の指定について

第 53 号議案 池田市豊能町能勢町障害者給付認定審査会共同設置規約の変更に関する協議について

第 55 号議案 平成 24 年度豊能町介護保険特別会計事業勘定補正予算の件

以上、会議の次第を記し、これを証するためここに署名する。

平成 年 月 日署名

豊能町議会 議長

署名議員 6番

同 7番